

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称 令和6年度 第1回美里町近代文学館運営審議会

2 開催日時 令和6年6月28日(金)
午前9時55分から午前11時55分まで

3 開催場所 美里町近代文学館2階視聴覚会議室

4 会議に出席した者

(1) 委 員 長田智紀委員、中館典子委員、鎌田公子委員、渡邊智佳子委員、
木田真由美委員、梁川敏江委員、佐藤孝委員

(2) 事務局

美里町教育長 大友義孝、教育総務課長 齋藤寿
小牛田図書館長 佐藤卓也
課長補佐兼南郷図書館長 草刈明美
近代文学館主査 鳴海紋歌

(3) 欠席者 小嶋恵美子委員、澤田とよ子委員

5 議題及び会議の公開・非公開の別

(1) 議題

- ① 会議録署名人及び会議書記の指名
- ② 令和5年度事業報告について
- ③ 令和6年度事業計画について
- ④ 近代文学館要覧について
- ⑤ 図書館利用状況について
- ⑥ その他

(2) 会議の公開・非公開の別 公開

6 非公開の理由 なし

7 傍聴人の人数 なし

8 会議資料 別紙のとおり

9 会議の概要

【発言内容の記録】

発言者	発言内容
草刈課長補佐兼館長	皆様おはようございます。定刻より少し早いですが、皆様お集まりになりましたので、令和6年第1回美里町近代文学館運営審議会の開催を始めたいと思います。まず始めに、今年度から委員になられました委員さんに委嘱状の交付を行います。 【委嘱状の交付】 続きまして、美里町教育委員会の大友教育長からご挨拶申し上げます

	す。
大友教育長	改めまして、皆様おはようございます。今回は、第1回目の美里町近代文学館運営審議会の会議ということで、今回新たに委員になられた皆さまには、4月1日に遡って委嘱状の交付をさせていただきました。2年間どうぞよろしくお願いいたします。 今日は、まだ気温はそんなに上がっていないのですが、これから30度近くまで上がるということです。やはり梅雨に入りますと、雨の心配がありまして、今日明日はいいようですが、日曜日になると雨が降ってくる予報となっているようです。ダムのほうでは、だいぶ水が無くなってきていて、皆さん節水されているんだろうなと思います。今後どのようになっていくか、九州のほうではだいぶ降っているようですが、こちらではまだそれほどということのようであります。 先日、ニュースで見ましたが、2つ気になることがありました。 1つ目は、岩手県の田んぼに水がなくて干からびているということで、稲作が心配だというニュースがありました。 2つ目は、全国で図書館の順位というものが出ているのですが、宮城県内では、多賀城市の図書館が、全国で4位となっておりました。テレビでの簡単な紹介だったので、詳しくは分からないのですが、建物は凄く立派です。きっと建物以外にも、いろいろな工夫があって、利用者さんが使いやすいようになっているのだろうなと思います。県内でも全国から注目されるような図書館があるのだなと思いました。 さて、わが町の図書館はどうかというところですが、コロナ後でお客さんもだいぶ戻ってきているのではないかと思います。私は南郷庁舎に勤務しているのですが、子ども連れの利用者さんが本を探している様子をよく目にしています。 本日、審議会の皆さまには、要覧というかたちで令和5年度の実績を見ながら令和6年度の計画を示させていただきたいと思います。近代文学館の運営方針に沿って運営をしているところではございますが、改めて審議会の皆さまの御意見を頂戴したいと思っておりますので、皆様の忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。 以上簡単ではありますが、私からのご挨拶とさせていただきます。
草刈課長補佐兼館長	ありがとうございました。それでは、運営審議会の委員長を決めさせて頂きたいのですが、どなたか自薦がないようであれば、事務局案を述べさせていただいてよろしいでしょうか。 (異議なしの声あり。) それでは、委員長に木田委員、副委員長に渡邊委員と考えております、ご両人いがかでしょうか。 (はいとの声あり。) ありがとうございます。それでは、議事の進行を木田委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
木田委員長	木田と申します。ここ何回か委員長を務めさせていただいております。初顔合わせの方も何人かいらっしゃいますが、色々のご意見をいただきながら、より良い近代文学館の運営について、支援していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。 それでは、次第の5、会議録署名人の選出と議事録の作成について、事務局案をお願いいたします。
佐藤館長	会議録署名人について、鎌田委員と佐藤委員にお願いしたいと考えております。また、議事録の作成は鳴海主査が行うということですのでよろしいでしょうか。

木田委員長	ご兩人よろしいでしょうか。 (はいとの声あり。) お引き受けいただくということで、どうもありがとうございます。
佐藤館長	よろしくお願いします。
木田委員長	それでは、次第の4 報告・協議 (1) 令和5 年度事業報告について、事務局お願いいたします。
佐藤館長	事業報告の前に、要覧でいうところの事業報告の前の部分までのご説明をさせていただいてよろしいでしょうか。
木田委員長	はい、お願いいたします。
佐藤館長	ありがとうございます。要覧に沿って、内容をかいつまみながらご説明をさせていただきます。 【要覧前段について説明】
木田委員長	それでは、これについてご質問ないでしょうか。 私から質問があるのですが、要覧2 ページ、施設の概要のところになります。8 ページには畳のスペースの写真がありますが、2 ページの館内図には畳のスペースが反映されておられません。それと、トイレの近くに畳に見える部分があるのですが、現在は椅子とテーブルが置かれているスペースになると思います。それから、レファレンスルームは、館内の表示では調べものコーナーとなっていると思います。館内図を、現在の状態に修正してはいかがでしょうか。
佐藤館長	畳のスペースにつきましては、館内図の右上作業スペースの部分に配置されております。畳のスペースの館内図上の表記等について、今後修正を加えたいと思います。
木田委員長	それから、9 ページの組織図についてです。南郷図書館は、小牛田図書館の分館という位置づけでよろしいでしょうか。
草刈課長補佐兼館長	はい、分館という位置づけになります。
木田委員長	ほかになにかありますか。鎌田委員さん、どうぞ。
鎌田委員	さきほどお話のありました、畳のスペースについてです。畳のスペースは、以前は畳が敷かれていましたが、現在はカーペットが敷かれておりますよね。予算が絡むのだと思うのですが、早く畳を敷いて欲しいです。子供が寝転がったりするので、畳のほうが安心だと思います。
木田委員長	カーペットだと、ダニや感染症等が怖いので、ぜひ検討してください。 それでは、(1) 令和5 年度事業報告について、事務局から説明をお願いいたします。
草刈課長補佐兼館長	令和5 年度事業報告ということで、要覧の1 5 ページからご説明させていただきたいと思います。 【令和5 年度事業報告について説明】
木田委員長	ありがとうございます。なにかお気づきの点はございますでしょうか。
佐藤委員	1 5 ページ下から3 つめの事業名は、「リサイクルブックフェア」ではないでしょうか。
木田委員長	字句の修正をお願いいたします。 私からも何点か。「グループホームよつば荘作品展」の、参加者数は「0」となっていますが、「ー」ではないでしょうか。 次に、「POP 決戦！本の三国志天下統一戦 表彰式」は、南郷の

	「POP 決戦！本の三国志天下統一戦」の後に記載いただいたほうが、時系列に沿っていると思います。 それから、「あつまれ3歳っこ」の参加者数と、「ひと箱古本市」と「おひぎにだっこスペシャルおはなし会」の令和4年度分が空欄になっているので、実態に合わせて修正、おひぎにだっこの会、おはなし会、おはなし広場は、参加者数に延べを追記し、そのほかに実施回数を入れていただけると、1回あたりの参加者数のイメージがつきやすいです。 それから、「②館外サービス」の「図書の宅配」では、対象が「身体の不自由な方」とありますが、高齢者福祉施設という文言も加えたらいかがでしょうか。 次に、「③施設見学」のなかで、「子どもの丘子育てセンター」とありますが、これはどこの施設でしょうか。町外であればどこの施設なのか明記していただけると分かりやすいと思います。 以上です。他、委員さんからなにかありますか。
長田委員	この要覧は、外部の方も見られるのでしょうか。
草刈課長補佐兼館長	はい。外部の方も見るができます。
長田委員	わかりました。事業の概要は、小牛田と南郷をそれぞれ分けて記載してみたいでしょうか。
木田委員長	イベントは、両館にまたがるものもあるので、独自イベントのみでというイメージでしょうか。
佐藤委員	私は、このままの記載方法で良いように思います。
佐藤館長	見やすくなるように、館内で今後検討いたします。
木田委員長	そのほか、なにかありませんか。 ないようですので、(2) 令和6年度事業計画について、事務局から説明をお願いいたします。
草刈課長補佐兼館長	はい、令和6年度事業計画について、要覧19ページからご説明いたします。 【令和6年度事業計画について説明】
木田委員長	ありがとうございます。なにか質問はありますか。 字が細くなる部分については、2段にするなど、見えやすくする工夫をしていただけたらと思います。それから、「POP 決戦！本の三国志」については、学生から応募をいただいて展示等をしているのだと思いますが、投票は一般来館者ということで、対象者の記載を分けると良いのかなと思います。 20ページの、「河北展入賞・入選賞」について、昨年度委員さんから、写真の作品も展示できないかという話がありました。その点はいかがでしょうか。
草刈課長補佐兼館長	担当者に確認します。
木田委員長	時期がずれているなら、別の時期でも開催すると良いのかなと思いました。 ほか、委員さんからなにかありませんか。 それでは次にうつります、「(3) 近代文学館要覧について」ということで、事務局から説明をお願いいたします。
草刈課長補佐兼館長	はい。先ほどから、要覧上でご説明させていただいておりますが、事業以外の部分でのご説明をさせていただきたいと思います。 資料前後しますが、10ページをご覧ください。資料の状況等のご

	説明になります。 【近代文学館要覧に基づいて説明】
木田委員長	では、これについてご質問ないでしょうか。
佐藤委員	10ページの「蔵書の推移」で、この表の見方についてですが、一番下の総計は、令和5年度の蔵書数に受入数を加えて廃棄した数を引いてこの数字を出しているのですか。
草刈課長補佐兼館長	はい、前年度の数字から、除籍した部分を引いて、さらに受入した数を加えています。
木田委員長	そのほか、ご質問ないでしょうか。 それでは私から。用語等の統一をしたほうが良いのかなと思います。例えば、蔵書数については、視聴覚資料も含まれた数字になっていますので、資料保有数とかの表現が良いかと思います。（2）蔵書の推移については、図書資料の推移、（3）分類別図書資料冊数というふうに統一してはいかがでしょうか。 それから、11ページ（4）視聴覚資料の合計数が合わないのを確認してください。10ページの視聴覚資料数も合わせて確認してください。
草刈課長補佐兼館長	すみません、こちらもう1回確認します。
木田委員長	ほかになにかありますか。 進めます。（4）図書館利用状況について、事務局説明お願いいたします。
草刈課長補佐兼館長	それでは、要覧13ページの利用状況についてご説明させていただきます。 【図書館利用状況について説明】
木田委員長	みなさんから何かありませんか。 それでは、私から。13ページ「（1）利用状況の推移」の下「※令和4年度までの登録者数には除籍者が含まれている。」とありますが、これは「除籍者も」としたほうが良いのではないのでしょうか。 年齢別の利用人数では、ティーンが減ってきているのに対して60代が大幅に増えています。ティーンの利用者をいかに増やすかというところが課題ではないのでしょうか。あわせて、60代以降の利用者が多いということで、高齢者向けのサービスを考えたほうが良いかもしれません。 14ページ「（4）インターネットサービスの推移」を見ていると、利用数が伸びているようです。インターネット用パソコンの数は1台でしょうか。そうであれば2台に増やしても良いのではないのでしょうか。 それから、蔵書検索用のパソコンについてですが、他に使っている人がいると使いづらいです。いつでも使えるようにしていただきたい。
草刈課長補佐兼館長	いま、子どもの数は減ってきておりますし、一人の場合や友達と一緒に来館することが難しいというケースはあると思います。反対に、高齢者の方は皆さんお元気で幅広いライフスタイルをお持ちの方ですので、そういった趣味に合わせた資料を準備したいと考えております。子どもの利用者を増やすには、保護者へのアプローチが必要だと考えています。 インターネット用PCは、現在2台で運用しております。今、子ど

	もはタブレットが主流で、キーボードは使えず、タッチパネルのものでないと使えないというケースが増えております。現状、図書館にはデスクトップ型のパソコンを設置しておりますので、今後はタブレットも含めて検討していく必要があるのかなと思います。 検索用パソコンについては、今後検討していきます。現状は、一台しかないで、他の利用者さんが使用していて使えないときや、そうでなくても気軽に司書に聞いていただけたらと思います。
木田委員長	ありがとうございます。 (5) その他として、ベストリーダーについてご説明お願いいたします。
草刈課長補佐兼館長	【ベストリーダーについて説明】
木田委員長	ありがとうございます。今までのところで、何かありませんか。
梁川委員	19ページの令和6年度事業計画についてですが、子供向け行事が多いと思います。大人も楽しめるようなものがあるといいなと思います、今後に期待しています。 17ページのギャラリー企画について、去年のようなイベントを今年は実施しないのですか。
草刈課長補佐兼館長	現時点では予定がないので、掲載しておりません。ただ、例年開催しているようなイベントについては、これから申込があるかもしれません。
梁川委員	わかりました。ひとつ意見なのですが、このようなイベントでは作家さんのトークがあったりすると嬉しいです。できるだけ作家さんとの交流の場をもちたいと思っておりまして、そういったものがないと寂しいなと感じます。例えば、原爆展であれば、学芸員さんからのレクチャー等があるといいなと思います。
木田委員長	継続して検討してください。
草刈課長補佐兼館長	作品について、説明の場を設けていただくこと等については、今後作家さんに提案していきたいと思います。
木田委員長	河北展は作家さんが町内の方なので、一日でもその方に作品について解説していただくとか、そういった時間を設けるというのも良いと思います。
梁川委員	1日中拘束するわけではなく、例えば1時間だけとかスポット的にお話いただける場があればと思います。
草刈課長補佐兼館長	河北展は作家さんと相談させていただきます。他の団体からの貸し出しで展示したギャラリー企画については、こういうこともできますという提案をさせていただきます。
木田委員長	ほかになにかありますか。
梁川委員	近代文学館は昔から大好きな施設で、私の知の拠り所になっています。何か気になる資料があれば、電話をすれば司書の方が丁寧に教えてくださって、ずっとお世話になっております。学校への貸し出しについても、幅広くしていただいていて、ますますこの図書館が皆から愛されるようになれば良いなと思います。よろしくをお願いいたします。
木田委員長	ご要望が出されました。よろしいでしょうか。
木田委員長	ティーンの利用者が少ないことについては、学校と連携していく方法しかないと思います。特に南郷は、時間的な余裕がなくてすぐに帰ってしまうということであれば、なんごう保育園ですとか、その中で本

	に親しむ時間を作っていただくとか、保育の時間に図書館に来ていただいて絵本に触れていただいて、そこで本を借りていくとか。南郷であれば場所的に直結していてそういうことが出来そうなので、良い方法を模索していければ良いのかなと思います。
草刈課長補佐兼館長	以前ですと、13時から14時のお帰りの時間の来館が多かったです。今は17時から18時のあいだに子供たちが来るが増えています。それと、放課後児童クラブが隣にあるので、学校もかなり協力的ではあるので、そういったところを考えながら木田委員長の御意見のような方法を模索していきたいと思います。
木田委員長	問題は、中学生中高生になるのですが、先ほどベストリーダーのときも思いましたが、ヤングアダルトの利用図書の推移はどうでしょうか。
草刈課長補佐兼館長	中高生については、学習室の利用はあると思うのですが、ヤングアダルトの図書は、中高生というよりは一般の方が読まれている印象です。今の子供たちは漫画をよく読むと思いますが、漫画は凄く幅広くて図書館に置けないようなものが流行っていて、以前ですと鬼滅の刃ですとか、呪術廻戦ですとかが流行っていましたが、そういったところをどうしたら良いかなと考えております。前はCDが良く借りられていたのですが、今はサブスクが普及しているので若い方は自分でサブスクにより音楽を聴いている方が多いのか、南郷では案外、若い人向けのCDよりも、70年代80年代の昔懐かしいCDのほうがよく出ている印象です。ぜひ若い年代の方にも図書館に来てほしいので、ティーンエイジャーをターゲットにしたいのですが、どの資料を持ってくるか考えているところです。
木田委員長	ご苦労なことだと思いますが、なんとか図書館離れを食い止めるような策を考えてほしいと思います。 ご発言まだの方、何かありませんか。
渡辺委員	図書館離れというか、学校の図書室にも結構専門的な本が増えている印象ですので、そちらを利用する子供たちも増えているのではないのでしょうか。そうすると、イベント事以外では図書館に行くようなこともないですとか、一人では図書館に行けないような子であれば保護者が連れていかないといけないので、そういった面からも土日も難しいのかなと思いました。
木田委員長	ありがとうございます。今の前段のお話で、学校図書館も充実してきているということで、そこを図書館でバックアップをしていくという方向性も良いのかなと思います。
草刈課長補佐兼館長	小学校に対するバックアップは出来ていると思うのですが、中学生に対するバックアップは、学級文庫ですとか、資料的に難しいものがありまして、どのような資料が良いのかということ、図書館でどこまで揃えられるかという部分が図書館としては難しいところですので、こちらといたしましても学校連絡会等で学校へのサポート体制はありますので、地道にやっていきたいなと思っております。
木田委員長	はい、梁川委員。
梁川委員	読書を好きな子供を育てたいというのは、図書館だけで背負うものではないと思います。読書習慣というのは、学校教育でもある。学校教育であれば、読書習慣に力を入れている学校もあれば、あまりそうではない学校もあるかと思います。でも、それはその学校が決めることですから、そこに立ち入ることはできません。ただ、ニーズがあれば要望に応じて学級文庫等のサービスをしていくことは必要だと思います。

	ます。私は、小牛田でも涌谷でも色々な場所で仕事をした経験があるのですが、美里町は毎日ではないけれど、学校の図書室に専門の職員がいます。専門の職員を置いていけば、それは図書室が明るくなるし充実すると思います。人のいない場所には誰も行かないと思います。ですから、専門の職員を置いている美里町は素晴らしいなと思います。他の自治体では、ないところも結構あります。
鎌田委員	私は、おひぎにだっこをしているのですが、おひぎにだっこに来てくださっている子は、お母さんが本好きだったりすると思います。子どもが読みたいという本は、既にお母さんは読んでいるし、家庭でも読み聞かせをしてあげていることが多いです。そして、そのお子さんも本が好きなのですが、その子が2歳になると、すぐにお母さんは働きだしておひぎにだっこに定着できない。せつかく、こちらでも馴染んで、この子はこういう本が好きなんだと感じる頃に来なくなってしまい、そこが残念だなと思います。どうしようもないことなんですけど、いつもそういったところで寂しい思いをしています。
木田委員長	ありがとうございます。今は少子化で、女性総活躍の時代ですから、家庭にだけ頼るという発想は出来なくなってきていると思います。3歳くらいになってしまうと、子供は幼稚園、保育園が当たり前になってきています。そういった中で、どうやって家庭にアプローチしていくかということを考えていかなければならない。昔はこうだったという言い方はできない、それではこれからどうするかということだと思います。どういったことが効果的かということで、皆さんのご意見、智恵をいただいていくしかないのかなと思います。 そうすると、先ほどお話したように、学校、保育園と連携していくという方法を模索していくことを考えても良いのでは。家庭が来るのを待ってられません、どうしても土日になってしまいますので。
草刈課長補佐兼館長	読み聞かせへの参加者は確かに減ってきています。機会が少なくなってしまうのは問題ですが、もちろんたくさんの方に来ていただくのは嬉しいですが、1組2組でも、また他の周りの方にお話ししていただいたりすることで、種をまいてくれるかもしれません。今までの活動はこのまま維持していきながら、幼稚園や保育所のほうにも目を向けていくことを検討していきたいと思います。
鎌田委員	ぼかぼかに月2で参加しています。そこで図書館でおひぎにだっこをやっているよと宣伝していると、同じ親が来てくれることがあるので、そういった連携も有り難いと思います。
木田委員長	連携を強めていくしかないと思います。そのほか、いかがでしょうか。
草刈課長補佐兼館長	児童館の子供たちは、親を待っているときに皆漫画本を読んでいます。こんな本も面白いよと勧めると、読んでくれて新しい似たような本はないかと聞かれることがありました。そのころは児童館も子供が多くて、20人くらいなんですけど、子供から要望があれば図書館にそのような本を借りにきていました。
木田委員長	ありがとうございます。子どもは自分に合ったものを勧めてくれれば読んでみようかなということもあるのだと思います。 学校図書館の司書にはそこまでできないので、児童館ならではのなだと思います。
佐藤委員	私は利用者からの公募で委員になりました。図書館という施設が、こんなに有り難い施設はないと思います。人に勧めると、図書館に通う時間がないとか言われることが多いのですが、1冊でも買えば1, 0

	00円、2,000円という金額になってしまいます。図書館という施設の有難さを理解していただいて、利用者が増えていけば良いと感じております。
木田委員長	いまは1冊を買うにも躊躇いが生じている状況なので、本当にそうだと思います。ご意見ありがとうございました。 ほかにご意見ありませんか。それでは、これで、協議を終了します。
草刈課長補佐兼館長	今日の会議は閉会となります。大変ご苦勞さまでございました。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委 員 _____

委 員 _____